

まちをやさしさに いっぱいにしよう!

まな
学ぼう!

こころ
心のバリアフリーとまちのユニバーサルデザイン



岩手県

まちをやさしさを

まな
学ぼう!

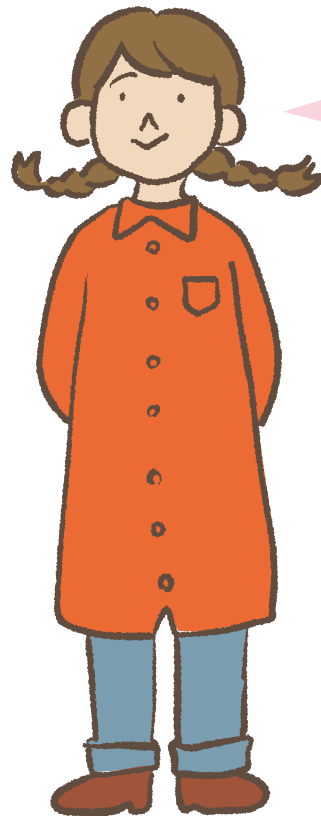
こころ
心のバリアフリーとまちのユニバーサルデザイン

こころ
みんなが心地よく
暮らせるように
していきたいよね。



まちだ
町田 大樹
だいき

まちが りかい
間違った理解は
ひと きず
人を傷つけたりする。
ちゃんと学んで
まな
おかないと。



ささき
佐々木 優奈
ゆうな

こう き しん おう せい なん
好奇心旺盛で何でも知りたがる。
かんが うご
考えるよりもまず動く!

もの せい と かい ちよう
しっかり者の生徒会長。
まちづくりにもきょうみ
興味がある。

いっぱいしよう!

ひとにやさしいまちづくりとは?

ひとにやさしいまちづくりとは、みんながひとりひとり大切にされて、「こうしたい!」と

自由に動き、いろいろな活動に参加することができるような、みんなが主役になれる社会。

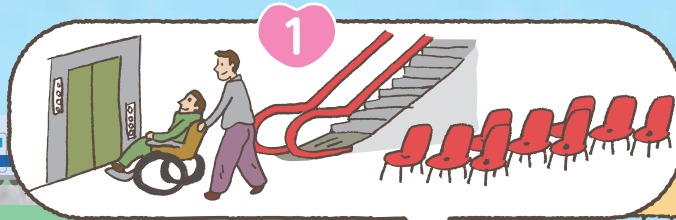
岩手県はそれを目指してすべての人が安全かつスムーズに生活できる環境を進めています。

ひとにやさしいまちづくりを進める上で重要なのが、“ユニバーサルデザイン”の考え方です。

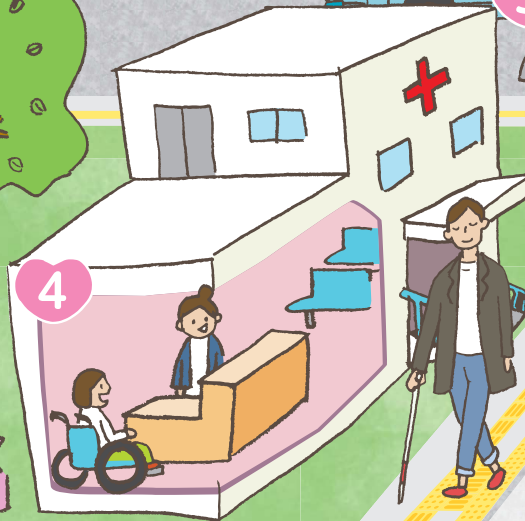
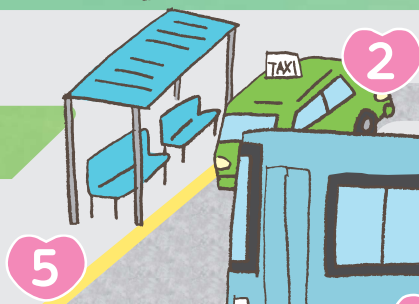


まちの中^{なか}にたくさんあるぞ! 「ひとにやさしいまちづくり」

だれ かわいてき
誰もが快適な
しく
仕組みづくりが
すす
進んでいるのよ



STATION



5

3

4

10

ひとにやさしいまち・いわて

1 ^{だれ りよう}誰もが利用できる
エレベーター



^{だれ お たか}誰でも押しやすい高さにボタ
ンを設置。

2 ^{ユニバーサル}ユニバーサル
デザインタクシー



^{くるまい す の お}車椅子でも乗り降りしやすい
タクシー。

3 ^{ノンステップバス}ノンステップバス
(スロープ付)



^{じようこうぐち だん さ の お}乗降口に段差がなく、乗り降
りしやすい。

4 ^{たか ちが うけつけ}高さの違う受付
カウンター



^{たか こと くるまい す}高さが異なることで車椅子の
人も利用しやすい。

5 ^{段差のない歩道}段差のない歩道



^{くるまい す お ひと かわいてき}車椅子だけでなくベビーカー
を押す人も快適。

ずっと暮らしたいまちって、どんなまちでしょう。
それは様々な人が平等に暮らすことができる場所。
ユニバーサルデザインを活用することで、
ずっと暮らしたいまちを実現できるはず。
岩手の未来をいっしょにつくっていきましょう。

ぼく
僕も
おとな
大人になったら、
やってみたいな



6 高さが2段に
なっている手すり



おとな
大人も子どもも無理なく使える
デザイン。

7 誰もが使いやすい
自動販売機



らく
楽な姿勢で操作・取り出しが
できる。

8 多機能トイレ



て
手すりやベビーシート等を備
えたトイレ。

9 絵文字を入れた
案内表示



ことば
言葉の説明がなくても直感的
に理解できる。

10 点字ブロック



し
視覚に障がいがある方も安
心して歩ける。

「ひとにやさしいまちづくり」

陸前高田市では「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりを掲げ、東日本大震災津波からの復興、そしてまちづくりを進めてきました。震災からの復興を学べる場所、全ての人が安心して過ごすことができる海水浴場を目指し、ユニバーサルビーチプロジェクトに取り組んでいます。

ユニバーサル ビーチ

陸前高田市



動画も見てみてね!



みんなが理解することで、
「ひとにやさしいまちづくり」を実現!



誘導 ブロック

岩手県民の森
森林ふれあい
学習館

視覚障がいのある方が安心して歩けるように誘導ブロックを設置。多くの
方が楽しめる施設です。

聴覚障がいや言語障がいのある
方が、質問や相談ができるように、
この施設では手話通訳が可能な
スタッフがおります。

手話通訳

ふれあいランド
岩手





みんなが大人になった時には、もっともっと「ひとにやさしいまちづくり」がすすんでいるはず。その第一歩は、ひとりひとりがちゃんと理解することです。

ヘラルボニーは、「異彩を、放て。」をミッションに、障がいのイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指しています。岩手県内では、バスや不凍給水栓などを障がいのある作家のアートが彩り、障がいの有無に関わらず、互いを認め合える社会づくりを進めています。



アール・ブリュット作品

盛岡市

くるまいす 車が りょうこう たの車椅子の方が旅行を楽しめるように、くるまいす しようしゃようよくしつ ようい車椅子使用者用浴室を用意しています。「旅行を我慢する必要がなくてうれい」という声が届いています。

くるまいす
車椅子
しようしゃようよくしつ
使用者用浴室

おおふなと
大船渡
プラザホテル



じんこうこうもん じんこうぼうこう しようオストメイト(人工肛門・人工膀胱を使用している方)が来館しても不安なく鑑賞ができるようにとオストメイトの方専用のトイレを用意しています。

オストメイト用
トイレ

いわて けんりつ びじゅつかん
岩手県立美術館



いわて けんない すす
岩手県内でたくさんのひとにやさしいまちづくりが進んでいます。

こちらまでぜひご覧ください。

いわてユニバーサルデザイン電子マップ <http://igis.pref.iwate.jp/udmap/>





1 心のバリアフリー

「バリア」を感じている人の気持ちになって行動することです。

自分の周りには、どのようなバリアを感じている人がいるのか、どのようなバリアフリーの工夫があるかに目を向けてみましょう。

まちにあるバリアフリーの工夫に気づいたら、様々な体や心の特性と考え方を持つ人などが使いやすいように気をつけましょう。

① 障がいのある人が困っていることを取り除くのは社会の責任である。

(「障害の社会モデル」と言います。)

② 障がいのある人(その家族)への差別をなくす。

③ 自分とはちがった条件を持つ多様な人々とコミュニケーションをとり、すべての人が困らないよう想像し共感する力をつける。



2 ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインはみんなのためのデザインです。

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人が利用できるように、モノや場所をデザインしていこうという考え方のことです。

岩手県ではひとりひとりが、相手の立場に立って行動できる「ひとにやさしいまちづくり」を進めています。「ひとにやさしいまち」をつくり、すべての人が『かけがえのない個』として参加することができるような、みんなが主役になれる社会を目指しています。





ユニバーサルデザインの 7つのきまり

1
こうへい
公平



つか しょうひんか
だれでも使やすく、商品化
されていてどこでも手に入る

2
じゅうなんせい
柔軟性



つか うえ じゅうなんせい
使う上で、柔軟性があること

3
かんたん
簡単



わかりやすく
つか
すぐ使えること



4
かんかく
感覚



かん かく じょうほう
感覚で情報がわかること



5
あんぜん
安全



お
エラーによって起こされる
き けん さいしょうげん
危険を最小限にする

6
らく
楽



ろうりよく すく らく つか
労力が少なく楽に使える



7
おお ぐうかん
大きさ・空間



ちか つか
近づきやすく使いやすい
おお ぐうかん
大きさや空間にする

とく 取り組みをやってみよう!

まわ こま ひと あぶ じょうきよう かんが
周りの困っている人・こと、危ない状況はないか考えてみよう

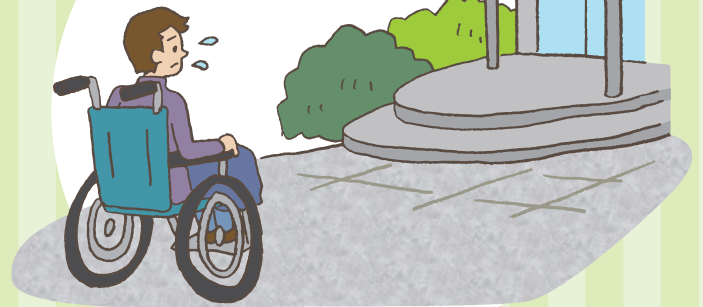
かんが どんなことができるか考えてみよう

あいて こま
相手がどんなことをしてほしいか困
っていることを確認して、手助けをし
ましょう。

だいじょうぶ
「大丈夫ですか？」

こま
「困っていることはありませんか？」

だん さ まえ くるまい す ひと
段差の前で、車椅子の人が
こま
困っています。



て つだ おも こえ ことわ
手伝おうと思って声をかけたとき、断ら
れることもあるかもしれませんが、がっか
りすることはありません。

じ ぶん ひと じ ぶん ひと
自分でやりたい人、自分でできる人もい
ます。相手の気持ちを大切にしましょう。

アンコンシャスバイアスとは？

わたし こえ ことわ
「私にはできないかも…」「きっと声をかけて断られるかも…」
かんが き
のように考えて、決めつけていませんか？

さまざま
まちには様々なひとがいます。これは、アンコンシャス・バ
い しいき おも こ よ
イアス(意識しない思い込み)と呼ばれています。「モノ」や
「できごと」にもお
起こることです。

できるだけアンコンシャス・バイアスをなくして、
み なお
まちを見直してみましょう。

おも こ まえ
思い込む前に、
いち どころが しん
一度考えて信じて
やってみよう！



様々な体験やボランティアに参加してみよう

まちで行われているバリアフリーの点検やキャップハンディ体験(障がいなどを
持った人の感覚の体験)に参加して、まちの中にある危険や困っていることを知っ
てみましょう。ボランティア活動には、雪かきや清掃といった身近でできるもの
があります。このような活動を通じて、まちの中で高齢者、障がい者、妊娠中の人
がどのようなことに困っているのか理解を深めましょう。

いわてけん すす

岩手県が進めるひとにやさしいまちづくり

目指す姿

岩手県は、みんながひとりひとり大切にされて、「こうしたい!」と自由に
動き、いろいろな活動に参加することができるような、みんなが主役にな
れる社会を目指しています。

1 ひとづくり

ひとりひとりが理解
され、大切にされるよ
うに取り組めます。

4 情報発信

みんなが、必要な情
報を、必要なときに、
必要な形で受け取り、
または発信できること
が重要です。

2 まちづくり

より多くの人を使い
やすい建物、乗り物、道
路、場所などをつくり、
安全で暮らしやすいま
ちをつくりまします。

3 ものづくり

だれにとっても使い
やすいものづくりを進
めます。

5 参画

みんながあらゆる
分野で活躍できる環
境をつくりまします。



まちにある色々なマーク

～ユニバーサルデザインの図や記号の意味を知ろう！～

たくさんの人が利用する建物や駅などでは、駐車場やトイレ、エレベーターなどを図や記号で案内してあるのを見かけます。だれもが使いやすいようにデザインされた場所、全ての人が安心して生活できるよう気をつけてください、とお願いをする意味を持つマークです。



障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建築物、施設であることを明確に示す世界共通のシンボルマークです。



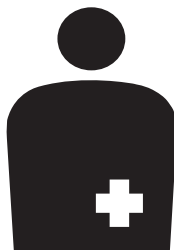
耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマークです。また耳の不自由な方に必要な援助を行うという意味表示を示すのに使います。



オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を付けている人(オストメイト)のための設備があることを示します。



盲人のための国際シンボルマーク

視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物などにつけられている世界共通のシンボルマークです。



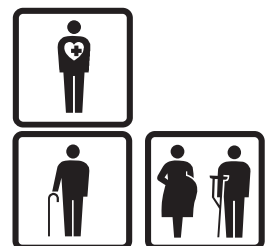
ヘルプマーク

義足や内部障がいのある方など、外見からはわからない人が、周りに配慮を必要としていることを知らせるマークです。



その他のマーク

交通機関の優先席表示で広く使われています。上が内部障がい者、左下が高齢者、右下が妊娠婦、けが人を示します。



このマークはほんの一例です。まちで見つけてみよう!